

鹿ノ台川柳教室 十二月度句会

十二月十六日(月) 鹿ノ台西集会所

宿題「セリフ」(連記)

前田幸男選

サギ電話長いセリフを丸暗記 ちさと  
 口上をセリフに合わせ見栄をはる 宏樹  
 君の名は世間ゆるがす名セリフ 乃り子  
 大人びた子役セリフを丸暗記 春代  
 名ゼリフ何度聞いても安心す 充  
 万才師セリフ忘れてギャグ生まれ 登美  
 捨てゼリフ吐くよな人は苦手です 広子  
 おはようとありがとうだけ言うてみる えいじ  
 捨てゼリフ吐かず辞表をだした悔い アキラ  
 健さんが言うから様になるセリフ 英二  
 ゴミの日にしつかりためて捨てゼリフ 正清  
 ききたいなドラマを締める決め台詞 哲子  
 やつとれん友のグチ聞く縄のれん よし尚  
 何気ない言葉の綾に仲違い よう子  
 ⑤気が弱くメールで送る捨て台詞 義雄  
 軸捨て台詞捨う人あり嫁一人 幸男

飲んで効く免許取消す酒五号 幸男  
 夫婦げんか夕食手抜きてきめんじに 乃り子  
 効いてます食費削って美容液 哲子  
 孫来ると眉間のシワが伸びる爺 哲子  
 倭やけ喰いでうなぎのぼりの血糖値 登美  
 軸赤いバラ福沢諭吉といい勝負 英二

宿題自由吟(共選)

坪田登美選

年の瀬を喪中ハガキが先ずノック 哲子  
 イノシシも師走の町を駆け回る 幸男  
 姑のエステ帰りに咲く笑顔 広子  
 風呂トイレ五七五がくせになり 英二  
 だんだんと年金の橋細くなる よう子  
 お怒りが収まってくる二合半 ちさと  
 ポイントが効いたと財務高笑い よし尚  
 胎動を確かめ親となる覚悟 春代  
 抜け道を作り法律できあがる アキラ  
 散り時をガラシヤで学ぶ人の世を 幸男  
 倭節約も浪費もつらい光熱費 充  
 軸欲は欲意欲に変えて百八ツ 登美

宿題「てきめん」(共選)

勝部乃り子選

反応が確かにあった札の束 よう子  
 にぎらせて効果てきめん上座席 えいじ  
 孫来ると眉間のシワが伸びる爺 哲子  
 災害にてきめんという思いやり 正清  
 やけ喰いでうなぎのぼりの血糖値 登美  
 すっぱんがてきめん効くお年頃 ちさと  
 鳥居を描けばみるみる減った犬の真似 義雄  
 冬なのに桜で騒ぐ永田町 よし尚  
 清濁を併せて飲んでご入院 アキラ  
 出不精が医者のおどしで散歩組 登美  
 倭お歳暮が届いた頃に良い返事 英二  
 軸ワンチームてきめんみんな祭り好き 乃り子

宿題自由吟(共選)

澤山よう子選

フラダンス妻の衣裳に不整脈 広子  
 終焉を見事に主張落ちもみじ 哲子  
 抜け道を作り法律できあがる アキラ  
 あぐらより正座へ戻し一〇八つ 乃り子  
 あれこれと思ひ出させる年賀状 英二  
 胎動を確かめ親となる覚悟 春代  
 ドーナツが三角形に見えるうっ 正清  
 イノシシも師走の町を駆け回る 幸男  
 折れるまでためて二の矢をうっている 正清  
 ぐずる児に乳含ませるいとおしさ 広子  
 ⑤節約も浪費もつらい光熱費 充  
 軸カタカナに蹴躓いてる八十路坂 よう子

宿題「てきめん」(共選)

播本英二選

出不精が医者のおどしで散歩組 登美  
 鳥居を描けばみるみる減った犬の真似 義雄  
 清濁を併せて飲んでご入院 アキラ  
 コマーシャルすつきりいかぬ便秘薬 幸男  
 悪知恵が即座に浮かぶ詐欺事件 よう子  
 ちよつと誉めたらすぐ良い子ぶる孫三つ 義雄

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

(十一月十八日〜十二月十五日各紙掲載分)  
 朝日新聞 田中新一選  
 十一月二十日 題「なりゆき」  
 訳のない淋しさ赤いバラを買う よう子  
 十二月四日 題「届く」  
 一行のメールがといたわだかまり 英二

付け届け貰って嵌まる蟻地獄  
十二月十一日 題「よるこび」  
孫からのビーズの指輪誕生日

アキラ  
よう子

右左靴は仲良く添い遂げる  
幸せなふりして生きる時もある  
十二月十二日 米田恭昌選

アキラ  
よう子

毎日新聞 山田順啓選

十一月二十一日 題「帽子」  
帽子道楽しのび涙の形見分け  
十二月五日 題「踊る」

よう子

徒ならぬ臓器をとつて無の境地  
苦勞の年輪を刻む深いしわ  
虐待の漢字を報道で覚え  
頭と身体鍛えてくれた鬼ごっこ

正清  
幸男  
アキラ

人生に踊りつかれて仮面取る  
三日後に心が踊ることがある  
十二月十二日 題「相談」

よう子  
乃り子

\* 橘正清、前田幸男、勝部乃り子、山神春代、  
各氏は短歌俳句でも活躍

相談を受けた此方が眠れない  
免許証家族会議で返納す

アキラ  
幸男

読売新聞 阪本高士選

十一月二十四日 題「川」  
とめどなく逆流をしてあばれ川  
十二月一日 題「石」

正清

次回 一月二十日、十二時十五分開場、西集会所  
宿題は「パン」、「休む」、「自由吟」各二句  
\* 席題 義雄選 一人一句提出  
\* 「パン」(連記) 広子選  
\* 「休む」(互選)  
\* 「自由吟」(共選) 春代選 英二選  
\* 席題発表十二時三十分 出句々十三時

はるばると隕石となる世捨て人  
十二月十五日 題「舞う」  
火をはいて恥部の落葉が舞っている

正清

自治連合会公認クラブ。生駒番傘川柳会のご指導  
を得て、日頃の生活を、喜怒哀楽を、五七五に  
句会のご見学、ご入会大歓迎、会費一カ月百円

奈良新聞 居谷真理子選

十一月二十日 題「ドア」  
さよならは明日のドアを開ける鍵  
自動ドア揺れる気持ちを知りもせず  
十一月二十七日 題「子ども」

よう子  
アキラ

問合せ 原 広子 (79・0061)  
野々村詮 (090・6961・1292)

力強く知恵も身体も親を抜く  
コンビニでホッと一息塾帰り  
おじいちゃん大人気ないと叱る孫  
逆縁になってお詫びの壺の中  
十二月四日 題「ずしり」

春代  
アキラ  
英二  
正清

一枚の辞表重さに手が震え  
甘い話の後にずっしり付けがくる  
軽はずしんと重い母背負う  
十二月十一日 題「作る」  
初めての肉じゃが妻の仏壇に  
豊作を堤防越えた水が飲む

英二  
よう子  
幸男  
アキラ

奈良新聞 自由吟

十一月二十一日 松本柁子選  
遠くきて先妣の墓所の吾亦紅

正清